



第1学期が終了!

早いもので、ついこの間今年度がスタートしたと思ったら、もう1学期終了の日となりました。途中に年号が平成から令和へと変わり、いい意味で新しい時代へ新鮮な気持ちで今学期のいろいろな活動に取り組めたのではないかと思います。

新入生歓迎球技大会をはじめとした生徒会活動、「自分を磨く、仲間を磨く、地域を磨く」のローガンを掲げ、各種委員会活動等精力的に頑張っていました。学校行事等においては、炭焼き体験学習、3年生の体験ダイビング、石垣中との交流学习、中体連夏季総体、地域行事では上原地区最大のイベントであるデンサ祭りでの吹奏楽演奏、棒術、旗頭など、たくさんさんの活動がありました。どの行事においても、手を抜くことなく全生徒が一つになって全力で取り組んできたと思います。すばらしい成果を上げてくれました。この頑張りを夏休み以降の学校生活その他にしっかりつなげてほしいと思います。



沃野



竹富町立
船浦中学校
学校便り
第15号

発行責任者
校長
仲田欣五

炭、完売しました!

今年で34年目を迎えた炭焼き体験学習、永田欣也さんのご指導の下、保護者や地域関係者の皆様のご協力もあり、4月に木材切り出しを実施し、今年は新たな試みとしてデンサ祭り以降、炭の販売まで生徒が工夫を凝らし取り組んで参りました。20名の生徒が縦割りで3つの班に分かれて会社を設立し、「船中チャレンジビジネス」と称し、どうしたら売れるのかいろいろ意見を出し合い、実際の販売まで手がけました。その結果、出来上がった142袋全部を7月までに完売することができました。これはすごく画期的なことです。働くこと

の意義、収入を得ることの大変さなど多くのことを学んだと思います。生徒の皆さん、本当に良く頑張りました。保護者並びに地域の皆様、ご理解、ご協力本当にありがとうございました。



文科省調査官による学校視察

船浦中学校は、今年度より2カ年間、文部科学省国立教育政策研究所の指定を受け、教育課程研究校「へき地教育」として、「主体的・対話的で深い学びに向かう生徒の育成」～小規模校のよさを生かした教育活動の工夫を通して～をテーマに研究に取り組んでいます。主な柱は「授業改善」と「島立ち（自立と自律）」です。去る7月16日～17日の2日間、文科省から長田徹 総括研究官が来校し、現時点での本校の研究や生徒たちの活動の様子をご覧いただきました。授業参観や生徒集会、給食等を通して、生徒たちが頑張っている姿に感動していました。1学期の取組を紹介した際にも、特に炭焼き体験学習の一連の取組は、キャリア教育の視点を踏まえた全国でもなかなかないユニークな取組であるとのことで、自信を持ってくださいとおっしゃっていました。2月には文部科学省で中間発表することになっています。「一つ一つの取組を確かなものに」という気概で、職員生徒一丸となって頑張っていきましょうね！

＜船浦中学校の皆さんへ＞

授業参観させていただき、ありがとうございました。皆さんの発表、司会、ワークシートへの書き込み、どれを見ても立派でした。また、互いに尊重する姿、先生方との信頼関係もすばらしいものでした。授業や学校生活は生徒が主役。生徒と教師が一緒に創り上げていくことが船浦中では実感できています。とても良い学校に通学できている、いや創り上げることができていますね。是非、自信を持ってください。全国に誇れる学校ですよ。2日間ありがとうございました。 (おさだとおる)

文部科学省 長田 徹



基礎力テスト⑥

18日(水)に1学期最後の基礎力テストを行いました。1年生が国語、2年生が英語、3年生が理科でした。結果は、1年生が合格率90%、2年

生、3年生が全員合格の100%でした。1学期の締めとしてのテストとよく頑張ったと思います。この結果を夏休みの学習に活かし、2学期は全員合格となるように頑張りましょう！



1年生

2年生

3年生